

# 天竜の伝説・歴史

電宮に通じる淵。

## 伝説 椎ヶ脇神社

昔は天竜川に竜が住んでいたという。天竜川の名前は、川の形が「竜が天にのぼる姿に似ていたから」ということになっている。だが、その形は竜が水中を泳いだあとだった。つまり、昔の天竜川の形はまっすぐで、曲がったのは竜が泳いだあとだからだという。

椎ヶ脇神社は岸壁上の森の中に今も残る。その昔、枝切りをしていた神主が、手を滑らせてナタを淵に落と

してしまふ。拾おうとしてのぞき込むと、深い淵中に引き込まれた。目を覚ますと、そこは電宮城。乙姫は他言してはならぬとクギを刺し、代わりに「欲しいものは何でも貸そう」と話す。ところが、地上に帰った神主は約束を破り、文字が書けなくなってしまうという。



## 二俣城の攻防戦

### 歴史 二俣城

天正7年(1579)9月15日、徳川家康の嫡男岡崎三郎信康は二俣城で悲劇的な生涯を終えた。信康と母の築山殿は織田信長から武田氏に内通しているとの嫌疑をかけられ、家康は正妻築山殿と信康の処分をせまられた。当時、三河の一大名に過ぎなかった家康は信長に従わざるを得ず、築山殿を斬り信康は二俣城内で切腹した。信康21歳。

時代は下って、元龜3年(1572)武田信玄が大軍を率いて甲斐から遠江に進出し、三方ヶ原の戦いの前哨戦ともいえる二俣城をめぐる攻防戦が展開された。武田軍は天然の要害である二俣城を攻めあぐみ、城兵の生命線ともいべき水の手を断ち二俣城を落城。以後、武田氏の武将依田信蕃(のぶしげ)が城代となった。

## ①船明ダム



## ②阿多古川



## ③鳥羽山城



四季を彩る地元の食材を愉しむなら此処。



湖流 納涼亭

TEL 053-925-2238  
〒431-3313 静岡県浜松市天竜区二俣町鹿島1-10



天竜膳 三好 (料理自産店、日本料理店)

TEL 053-926-0344  
〒431-3314 静岡県浜松市天竜区二俣町二俣932



彩花彩菜 和食処

TEL 053-926-0132  
〒431-3311 静岡県浜松市天竜区二俣町阿蔵114-2



食事どころ きよみ (定食・仕出し料理)

TEL 053-926-3588  
〒431-3303 静岡県浜松市天竜区山敷2958-1

## ④秋葉山本宮秋葉神社



## ⑤二俣城址



## ⑥鹿島橋



# 天竜下りの歴史

貴重な水運として、江戸時代から利用されてきた天竜川。一九一二年(大正元年)、イギリスのコンノート殿下が朝香宮殿下が、長野県の飯田から西鹿島までの間を舟で下られました。観光としての舟下りはこれが最初だと言われています。

その後、数回にわたって皇族や文人らが天竜舟下りをされました。一般的な観光としての舟下りは、一九四八(昭和二十三年)、二俣町観光協会が民間委託で業務を開始。これが、現在の遠州天竜舟下りの起源になっています。



いろんなアイテムでさらに楽しさがふくらむ! 貸し切り船で小宴会も!



天竜下りの楽しみ方。天竜川の四季を楽しむならのんびりとした時を過ごせます。船頭さんの口上を聞きながら歴史を想像するのはいかが? お楽しみグッズの日傘がふりながら法被を着て船頭さん記念撮影もいかに? 貸し切り船での仲間と小さな宴会も出来ます。

## お土産



手ぬい 500円  
竹笠 500円・1,000円